

みうらトーク&トーク 令和5年度第2回

<日時>

令和5年11月7日(木)

11時～11時30分

<テーマ>

- ・こどもを産み育てる立場から
三浦市の子育て支援策への意見
- ・今後も住み続けたいくなる子育て
環境に望むこと



<参加者>

0歳児の親子教室「みまぐっこ」参加者 35名（保護者 18名・子ども 17名）

<概要>

市長挨拶

皆さんこんにちは。

今日は突然のことで驚いたと思うが、市民の皆さんと対話をしようという機会を政策として作っている。コロナ禍でなかなかできなかったが、今年から再開して皆さんとの対話の機会を作っている。

市長に就任して18年経過した。長いことこの職に就いている。三浦市は小さなまちだが、港や畑があり、自然が豊かで、人情味があり、良いまちだと思っている。大きな課題は、人口がなかなか増えない。減ってしまっていて、財政的にも厳しい状態が続いていたが、少しずつ良くなっている。子育て環境を整えようというのが、全国の市町村の大きなテーマになっている。三浦市も、皆さんの生活を良くしていくのが市役所の仕事。直接色々とお聞きして政策に反映させるのが今回の目的。ただ、こういった場で意見を言うのはなかなか難しい。普段思っていることがあれば、健康づくり課や子ども課が子育ての仕事をしているので、そこに色々とお話をしてほしい。

私も孫がいる。本当に大変だ。皆さんの気持ちはよくわかる。三浦市の大きな社会環境があって、自然増減・社会増減を把握すると、毎月大体60人くらいが亡くなって、生まれてくるのが10人くらい。どうしても自然減が発生している。一方で転入・転出ともに100人くらい。たまに転入が上回ることもある。コロナ禍もあってそういった環境が作られてきている。三浦市にとっては大きなチャンス。アピールするには非常にいい機会。そんな中、子どもたちが育ちやすい環境をどうやって作るのかが大きなテーマ。

医療費の関係は18歳までかからないようにした。保育園の待機児童対策なども行っている。国県と連携しながら進めている。こども家庭庁ができて、三浦市もその取り組みに参加している。

こういった機会を多く作って、市として何をしたらいいのか、ご意見を頂戴することが大事だと思っている。公園の整備など、やることはいっぱいある。何をしたらタイムリーなのかを皆さんから直接意見を聞けたらいいと思って、こういった時間を作らせてもらった。日ごろから、何か不便さを感じていること、何かハッと気づくこと、何か感ずることがあれば教えていただきたい。

市民 うちの周囲の公園の遊具が、使っても大丈夫かと思うほどボロボロだから整備してほしい。また、三崎口駅からバス通勤しているが、駅に喫煙者が多すぎて受動喫煙がつかった。

市長 その意見は多くいただいている。公園の遊具は手当できない状態だったが、危険なものは取り除いて、ふるさと納税を遊具整備に充てる取り組みを行っている。三崎口駅付近の喫煙の問題は、非常にたくさん意見がある。京急にも申し入れをしている。

子ども政策担当部長 京急に禁煙の貼紙を増やしてもらおうよう申し入れをして、増やしてもらっている。

市長 マナーの問題だ。周囲の状況を考えずタバコを吸う人が多い。灰皿を置かないようにするなど、これから真剣に取り組んでいくつもりだ。

市民 諸磯に住んでいる。諸磯の海の方は街灯が少なくて暗い。娘が大きくなったら一人で歩かせるのが怖い。街灯がもう少しあったらいい。もう一点。歩道が斜めだし、穴があったりデコボコなので、ベビーカーを押していると子どもが起きて泣いてしまったことがよくあった。歩道の整備をしてほしい。

市長 承知した。街灯については、危険な個所や、ここに付けてほしいという意見は、区でまとめて要望をいただいている。要望をいただいた所に優先順位をつけて基準に基づき対応している。浜諸磯については、家も少ない、実際に街灯も少ない。脇道のデコボコも注意はしているが、ご意見としてはしっかりと受け止める。浜諸磯が暗いというのは確かに問題になっているし、他の方からも伺っている。

市民 きれいな公園が少ない。宮川公園も汚い。城ヶ島公園の駐車場は高い。450円取られる。

市長 きれいな公園は確かに少ない。宮川公園、風車のある公園は、これから整備する。城ヶ島公園も、駐車場は確かに課題だ。例えば市民枠とかも考えられる。

市民 ソレイユの丘は駐車場が横須賀市民無料の日がある。

市長

ソレイユの丘はリニューアルして、指定管理者が月に2回、日曜日に横須賀市民の駐車場料金を無料にしている。三浦市はソレイユに隣接していて、交通渋滞で市民の皆さんに迷惑がかかっているから、横須賀市と同じように三浦市にも市民枠を作ってほしいとお願いしている。なるべく早く実現できるように頑張りたい。

広くゆっくり遊べる公園を整備するのは大変だが、城ヶ島公園にも市民枠があってもいいと思う。城ヶ島には、城ヶ島公園の駐車場と商工会議所が管理している駐車場がある。城ヶ島公園の駐車場は、指定管理により観光協会が管理をしている。また、商工会議所が管理している駐車場は、売り上げを地元の観光振興のために使っている。商工会議所が管理している駐車場は対応可能だと思うので、早速考えるようにする。機械式の駐車場で、駐車券を入れてお金を払う仕組みだから、パスや無料券みたいなものをお配りすることができればいいかもしれない。

市民

2点ある。1点目、三浦海岸駅付近に子育て賃貸住宅と大規模マンションができるから子連れ世帯も増えるはず。近隣保育園に申し込みが集中すると思う。保育士の確保などで枠を増やすことができたなら嬉しい。2点目、私も移住者だからその視点で言うと、災害があったときの不安が大きい。もし地震が起きたら、津波や土砂災害など、どこに逃げたらいいのかがすぐに分からない。避難路を整備する、道路上に分かりやすいサインを設置するなど、検討できないか。

市長

意見はよく分かる。避難路は、ハザードマップを各世帯に配ってもよく分からないし、観光客は実際に目で見えないとわからない。例えば大きな矢印で避難方向を示すなど、よく考えるよう、議会との間でも議論になる。三崎の下町は観光客が多い。高台にすぐ逃げられるような誘導サインを設置する取り組みを行っている。それは当然にやらなければならない話。実際に見て分かる、視覚に訴えることが大事。検討はすでに行っている。すべて網羅はできていないが、一部は誘導の看板を作っているが、劣化が課題になっている。

三浦海岸駅付近の件について。子育て賃貸住宅は26世帯。市民枠と市外枠をこれから検討していく。市民の税金で対応するのだから市民枠は作る方向で検討していく。これから駅前にマンションができることもあり子どもたちが増えるだろう。学校の準備、保育園の準備、学童のキャパシティを広げることも、これから2年以内くらいで解決しなければならぬ課題。教育委員会と子ども課で検討している。保育園のキャパシティとしては実際にはもう少し預かれるが、保育士が不足している。保育士の処遇の改善は国全体の課題でもあるが、対応していくよう準備をしている。注目していただきたい。

市民

六合に住んでいる。子どもが遊ぶ場所がない。

市長

公園については、市全体を網羅して、もう一度見直すようにする。

- 市民** 初声にも近場の公園がない。他市だと「子どもの家」がある。屋外でも遊べて、屋内にも図書館がある。そういう施設を三浦にも作ってほしい。
- 市長** 子どもの拠点。初声ではないが、三浦海岸の子育て賃貸住宅には、子どもたちが遊べるようなスペースを作ること準備をしている。2年半後には引橋に市役所が移転する。そこにも子どもたちの遊べるスペースや図書館を計画している。これまで財政的に非常に厳しかったが、改善してきているので、前向きなことをしていく計画をしている。子どもたちの遊び場の話は、切実な問題として取り組んでいこうとしている。
遊具については、昔のみたいな鉄棒やブランコがあれば嬉しいか。
- 市民** あれば嬉しい。
- 市長** 承知した。遊具の選定も大変だと説明を受ける。危険性、事故があったことを考えると大変だと。
- 市民** 1点目、和田長浜に向かう道、車が凄いスピードで通る。子どもの通学路だし、速度標識もない。ミラーも街灯も少ない。2点目、先月里帰り出産から帰ってきた。地元に児童センターがある。午前中は幼児、お昼は小学生、夕方は中高生と、一日を通じて子どもが遊べる環境にある。幼児だけでなく、少し大きくなって、小学生でも遊べるところがあるとありがたい。
- 市長** 承知した。屋内も含めた子どもたちの遊びの拠点、検討する。
- 市民** 3点ある。1点目、この場だけでなく、広く子育てしている当事者を集めた会議体を作れば、もっと意見を吸い上げられると考える。2点目、保育園のオムツを持ち帰っているらしいので事業ごみとして保育園で回収してほしい。3点目、オムツ代の1万円支給はありがたいが、カタログで申し込むと4パック程度。近くのドラッグストアではプラス2パックは買える。現金支給にするか、どちらか選べるようにしてほしい。
- 子ども課長** 現在は持ち帰りをしないようにしている。6月から変更している。
- 市長** ちゃんと土木課に伝える。
- 市民** 予算措置をして、6月から保育園で処分するよう処分費用を手当てしている。
カタログギフトは、確かにドラッグストアで買えばもっと多く買える。
- 子ども課長** 配送料もあるため、量販店で買うより割高になってしまっている。

市長 使いやすい方にしないといけない。検討させてもらう。

市民 これから子育て世帯が増えるとのことだが、病院はどうなるか。小児科が少なすぎる。大人がかかる病院も少ない。産婦人科も。母親はホルモンバランスもあるので、気軽に相談できるところが少ない。

市長 医療は大きな問題だ。三浦半島広域医療圏というのがある。三浦市、横須賀市、逗子市、葉山町でのトータルの医療圏がある。塩崎医院さんがお産をやめて婦人科の検診だけになったのも、横須賀三浦の地域で子どもを産む環境を整えていて、大きな病院とも連携をして、困らない範囲で、ということで塩崎さんが決断された。確かに三浦市で子どもを産める場所がないのは事実だが、医療圏として対応している。西山先生が閉院してしまったが、市立病院で小児科医を招聘して対応できるようになった。医療相談についても市として対応できるよう準備しているが、ニーズにお応えできていないのが実態。そこはもっと検討する。

市民 転居して最初に感じたのは銀行が少ない。横浜銀行は三崎や三浦海岸にしかなく、都銀は横須賀中央に行かないとない。可能であれば大型ショッピングモールが三浦にできたら嬉しい。

市長 なかなか難しい。ビジネスには商圈がある。カインズホームだと三浦から横須賀南西部、葉山までターゲットにしている。大きなショッピングセンターだと横須賀でも不足している。三浦市にないことは申し訳ないと思うが、なかなか難しい。金融機関については、インターネットバンキングなどが広がり、店舗を統合する流れにある。コンビニATMでお金もおろせる。金融機関の店舗が増えることは多分ないだろう。

市民 子ども食堂があると嬉しい。

市長 以前は子ども食堂に負のイメージが一時あった。今は広く子どもが楽しめる場所として、実際に市内で活動している方もいる。フードバンクとも連携して、食材の提供についても対応したいと思っている。スペースを市として提供する責任があるし、これから対応していく。

市民 引橋への市役所移転を機に児童館を作れないか。図書館までとはいかないが、児童図書もあるし、雨の日に遊びに行く場所にもなる。

市長 令和8年4月に市役所が移転する予定だが、そこには子どもが集える場所や図書館も計画している。また、来年6月に南下浦コミュニティセンターがオープンし、子ども向けの図書を多く備えた図書館や、カフェができる予定。楽しみにしてほしい。児童館や子ども

センターみたいなものが三浦市にも必要だろうと考えるので、今後検討していく。子ども政策を今後中心に置いていくことが国の流れでもある。国や県と一緒に進めていくことが今後の大きなテーマ。

今日いただいた意見もそうだが、市役所で気づかない点、気づいていてもできないことがある。どんどんご意見いただきたいし、今後はもっとこういった機会を増やしていきたいと思っている。先ほど意見をいただいたような、子ども会議のような、市民の皆さんが集えるような場所を作っていくことが重要だと思う。

子ども課や「ひなたぼっこ」という名前の親子相談センター、保健師さんたちも含め、なるべく相談に乗れるような人員体制を整えているつもり。なんでも相談してほしい。ぜひこれからもさまざまな意見をいただければと思っている。

※ 公表については了承を得ております。